

類型9 和牛繁殖専業(50頭・放牧利用)

1、経営発展のポイント

優良牛の導入及び保留を行いつつ、飼養管理を徹底しその能力を十分発揮させます。また、放牧の利用により飼養コストを低減し、WCSを積極的に利用して飼料に対する自給比率を高めます。

2、経営のオプション

飼養頭数を減少させた次の経営も考えられる。

- ①繁殖牛30頭＋水稲6ha
(稲わらによる粗飼料及び敷き料の自給)
- ②繁殖牛30頭＋法人経営における農機オペレーター作業

3、経営概要

労働力	自家・保有労働力 2.0 人
	雇用有 (臨時)
経営耕地	水田 300a, 草地 200a
内施設	

4、前提条件

地域	全地域
栽培方法	①乾草利用
	②放牧地利用(水田3ha,うち借地2ha)
	③稲発酵粗飼料利用
販売方法	

5、栽培体系・労働時間

単位:a、時間

作目・労働力		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
飼養管理	面積												
	時間 3,205	262	286	262	278	271	266	260	260	265	271	262	262
自給飼料等	面積 500					■	●	■		●			
	時間 395	2	2	2	2	62	119	20	32	119	33	2	1
必要とする総労働時間	3,600	264	288	264	280	333	385	280	292	384	304	264	263
労働時間(自家・保有)	2人	264	288	264	280	320	360	280	280	360	304	264	264
雇用労働力						13	25	0	12	24	0		

凡例: ●播種 ▲定植 △仮植 ■収穫 ▽ビニルハウス

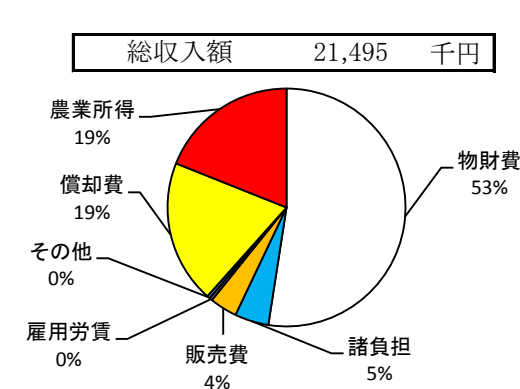
6、主な施設、機械

種類	規模	価格
畜舎・堆肥舎等	700㎡	18,850,000
フォレンジハーベスター等	1式	7,343,600
繁殖牛(導入助成見込む)	50頭	12,500,000
合計		38,693,600

7、売上高(粗収入)

単位:円、kg、頭

農畜産物名	販売量	平均単価	粗収入
子牛出荷	48	380,000	18,240,000
廃用	7	270,000	1,755,000
合計			19,995,000



8、農業経営費

項目	金額	備考
物財費	種苗費	213,000
	自給飼料費	479,608
	飼料費	5,679,200
	動力光熱費 診療衛生費	1,180,000
	小農具費	2,167,500
	種付・去勢料	1,000,000
	修繕費	555,680
	償却費	4,179,793
	物財費計	15,454,781
諸負担	土改良費	350,000
	租税公課	245,000
	支払地代	396,000
販売費	出荷資材費	
	出荷運賃	
	販売手数料	801,100
雇用労賃	86,400	
その他	86,666	
経営費合計	17,419,947	

9、経営の成果目標

項目	金額	備考
売上高(粗収入)	19,995,000	
農業経営費	17,419,947	
営業外収益	1,500,000	戸別所得補償等
農業所得	4,075,053	
所得率(%)	19%	